

令和 6 年度 事業計画

概要

人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中で、シルバー人材センターは、人生 100 年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っており、積極的な取り組みを強化していく必要があります。

我が国が超高齢社会に向かって急速に歩みを進めている中で、元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー人材センター事業は、ますますその役割を果たすことが求められており、そうした期待に対して、事業の一層の活性化等目に見える実績を示すことで応えていく必要があります。

そのためには、まず「会員拡大」が最重要課題であります。令和 6 年度からは「夫婦会員割引制度」を定め、入会促進、また退会抑止につなげていきたいと考えています。

「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業の根幹をなすものであり、組織を挙げて安全対策のより一層の推進を図り、傷害事故・物損事故の撲滅および健康の確保を図ることが肝要であります。事故事例等を「他人事」ではなく、「自らのこと」として認識するよう、安全意識の徹底とその高揚を図るとともに、安全対策を徹底していきます。

以下項目ごとに具体的な計画を示します。

1) 安全就業の推進

安全就業はシルバー人材センターの根幹をなすものであり、事故防止には一人一人の安全に対する意識付けが重要であり最重要課題と捉え次の事柄に積極的に取り組んでいきます。

- ① 安全に対する意識が会員に浸透するようにするため、就業中会員が日頃気を付けている事柄を「安全標語」として募集を行う。
- ② 安全パトロールを随時行い、会員に安全に対する意識を持ってもらい、事故の撲滅に努めていきます。
- ③ 人命を預かる業務である車の運転従事者に、自動車学校において認知機能検査や自動車学校の教官の意見や感想なども聞きながら安全講習会を実施します。

2) 会員確保及び退会会員の抑制

シルバー人材センター事業には会員確保が最も重要であり、会員なくしてシルバー人材センター事業は成り立たないので次の事柄に、積極的に取り組みます。

- ① 「夫婦会員割引制度」を有効に活用し、夫婦で会員に登録していない家族に入

会を促し、また退会抑制にもつなげていきます。

- ② 町村広報誌やチラシ等を活用して「会員募集」を行っていきます。

3) 普及啓発活動の推進

センターの存在や活動内容を地域に浸透させるため次の事柄について積極的に取り組んでいきます。

- ① 町村広報誌やチラシ等を活用し、地域にセンターの存在を広めていきます。
- ② ボランティア活動を通じて、センターの存在を広めていきます。
- ③ 令和 5 年度にシルバー人材センターのホームページを立ち上げたので、会員、地域住民にホームページの存在を広め、普及啓発に繋げていきます。

4) 高齢者等の見守り活動の推進

各町村社会福祉協議会及び関係町村と連携して、高齢者や支援が必要な方の見守り活動を推進していきます。

5) インボイス制度への対応

令和 5 年 10 月よりインボイス制度が始まり、シルバー人材センターの経費が大幅に増大します。その対策として現在 10%の事務費を 12%に上げさせていただき、発注者に負担を強いることとなりましたが、丁寧な仕事とより細かい連絡等により、発注者が納得のいくサービスを推進していきます。

6) 包括的契約への対応

令和 6 年秋よりフリーランス法が施行される予定です。それに伴いシルバー人材センターの契約関係の見直しを行うよう厚生労働省から方針が示されました。お客様及び会員の方が混乱しないよう丁寧な説明をし、また受注減にならないよう高知県連合会及び近隣センターと連絡を密にとり対応していきます。